1 各部位の熱貫流率(U値)算出→ シート[各部位U値計算]へ入力

①天井や壁、床の構成(使われている部材とその厚み)等を入力。
 *屋根、壁の充填+付加断熱の場合は「付加断熱」の行にチェックボタンを選択の上、入力ください。
 床は充填のみと充填+付加断熱のどちらかを選択の上、

入力ください。

⇒各部位の熱貫流率(U値)が算出されます。



PRUNADERPL-ト < MAD COMPLET 下記の創位別計算を入力後に各方位シートの面積を入力ください。

2 窓、ドアの性能、壁の面積を方位ごとに入力→ シート[A(※方位)]へ入力

①窓、ドアの寸法、熱貫流率 (U値)、日射熱取得率 (η値)を入力。
 ②壁の面積を入力

⇒窓、ドア、壁の熱損失量、日射熱取得量が算出されます。



- 3 天井・屋根、床等の面積を入力 →シート [B 屋根・床等] へ入力
 - ①天井、屋根、床の面積を入力。
 - ⇒上記「1」で算定された各部位の U 値を乗じて
 - 各部位の熱損失量が算定されます。
 - ⇒日射熱取得量も自動計算されます。



4 基礎(土間)の断熱仕様、厚さを入力→シート[基礎壁

①基礎(土間)の構成(使われている部材とその厚み)等を入力。
 ②シート名C(基礎)の基礎壁等の入力の熱貫流率算出時に使用、
 算出された熱貫流率を転記してください。

③右側の表13~15はシート名 C(基礎)で『新計算法』を選択し、 土間の周長長さと線熱貫流率を算出時に使用してください。 設計、施工条件に合致する値を選択し、土間の周長さと線熱貫流 率のセルに直接入力してください。 線熱貫流率等] へ入力



5 基礎(土間)の部位、熱貫流率、長さを入力 →シート [C 基礎] へ入力

- ①基礎(土間)の計算方法を選択。
- ②基礎(土間)の長さを入力。
- ③基礎(土間)の断熱材の熱貫流率を入力。

⇒土間床部分からの熱損失量が計算されます。



6 基本情報の入力 →シート [共通条件・結果] へ入力

①基本情報(住宅の名称、所在地など) ②基準レベルの選択(ボタン選択)



住宅の外皮平均	株置流率及び平均 28年省エネルギー基	日射熱取得率 (28 準に基づく (水道戸)	編開題・編開結 (研究会)・ (研究会)) 計算書	•								
 番本質時の入力 													
8956B						1							
124404				(648)	0 62538								
0.94688	82	8											
の計算能量 いな評価事業の会社(IA)	0#	*****	88(2.u)		0	1							
ド夜平均勝東流車32.0	O work	0 wook) #R#07%8888##(*)			0	1							
0 第1374一整备计的研究部分	NUMB												
	212102	2.01	112		8 461	1							
ド夜平均勝変流率323	O works	0.60 missio	88		0 884	1							
本の日本の平均日本の本(cac)	0	2.8	進合		0 883	1							
 A repairweak 		11-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1	0.0000.000		0 #82	A .	140.000	۵	 ۵	 ۵	4 (180)	0	 +

7 シート[共通条件・結果]に計算結果が自動計算されます。